

第3学年 総合的な学習の時間指導案

日時 平成20年10月17日(金)5校時
学級 3年A組(男子20名、女子11名)
授業者 千葉典子

1 単元名 将来の生活を考える

2 単元について

(1) 単元観

本校の総合的な学習の時間における目標の一つが、「学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探求活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする」である。この目標を受け、「将来の生活を考える」というテーマを設定し、現代社会の問題点を様々な面からとらえさせ、自分たちが中心となっていく社会にどう影響していくのか考えさせたい。そして、その問題点ひとつひとつを自分のこととして受け止めさせ、原因究明や解決方法の追求を主体的・創造的・共同的に取り組みさせながら、自己の生活や将来の生き方について考える力を育てたい。また、自分たちの探求した考えを他者に伝えていく内容・方法を工夫させたい。これら、一連の活動を通して、キャリア諸能力の育成を目指したい。

(2) 生徒観

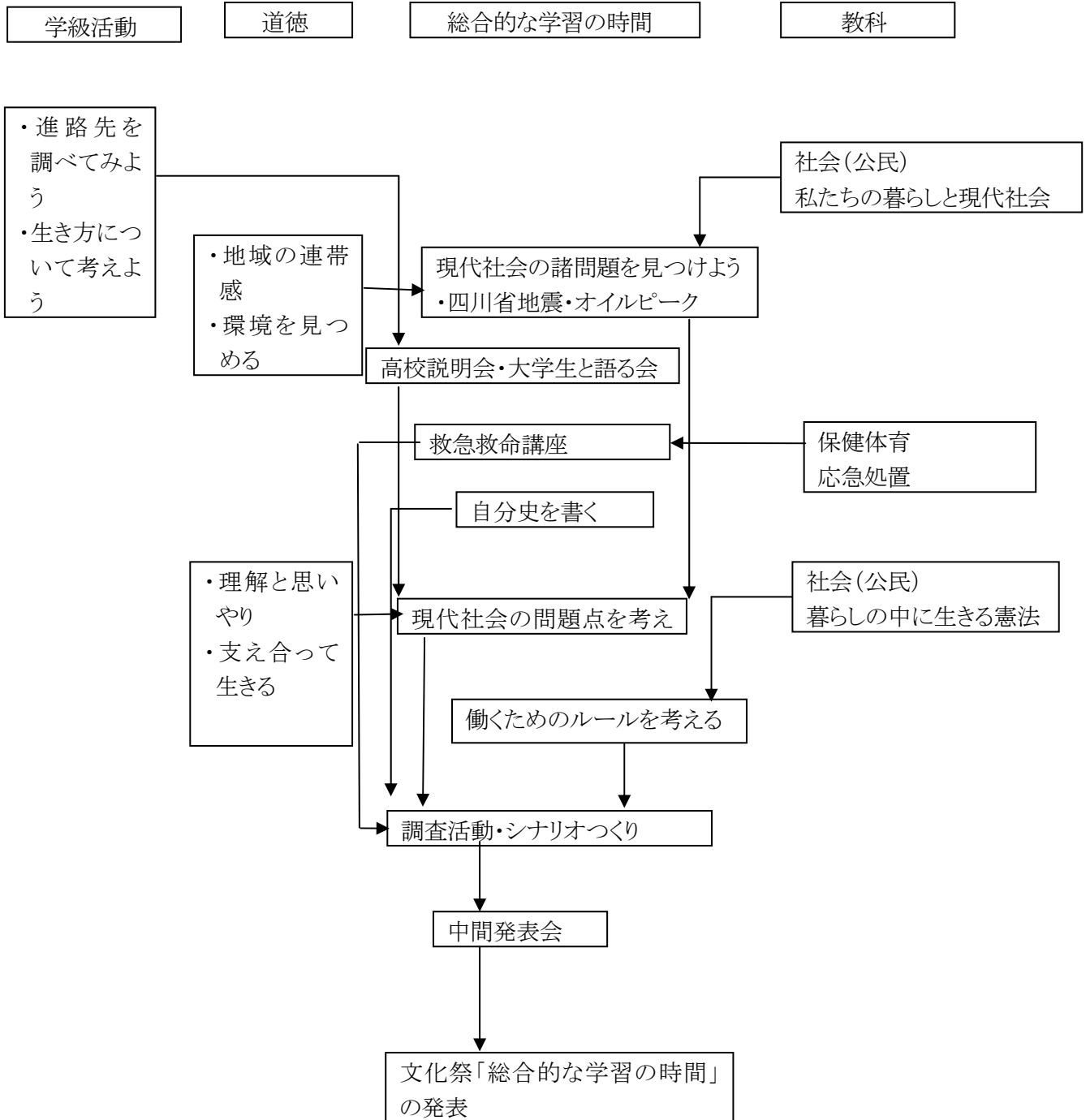
本学級は、穏やかな性格の生徒が多く、人間関係には大きなトラブルもなく毎日を過ごしている。生徒個々に優れた力を持っていて今までの行事等を成功させてきている。日常活動においては、自分に与えられた役割はそつなくこなすが、それ以上のものをお互いに望もうともしないし、課題意識を持って改善しようと思わないところがある。学習面においても、言われたことはやろうとするが、内容的には充実せず向上心が乏しい。現実から目を背け、あるいは適当にこなし、「今が楽しければいい」といった雰囲気を感じる。中には、物事を自分のこととしてしっかりとらえ取り組む生徒もいるが、集団として高まろうという意識にやや欠ける。

(3) 指導観

これまでの総合的な学習の時間では、現代社会の諸問題を提示し、自分のこととしてとらえ考えさせようとしてきた。しかし、どの問題にしても指導時間との関係から、ほんの一部しかふれることができなかつた。そこで、グループごとにそれぞれ現代社会の課題を選択させ、課題の現状や原因、解決方法、そしてそれがどのように自分たちの将来に影響していくかを追求させたい。今まで取り扱った問題を手がかりとして、文献調査、聞き取り、インターネットなどを活用し、様々な情報を更に考察し、まとめ、どう表現していくかを考えさせたい(情報収集・探索能力、計画実行能力の育成)。

表現方法としては、調査したことを劇等にして他に伝えることに取り組みせる。将来のどんな場面でどんなシナリオをつくり表現したら、自分たちの言いたいことを伝えることができるのか、グループ内で試行錯誤しながら取り組みさせたい(コミュニケーション能力、役割把握・認識能力、課題解決能力の育成)。

(4) 教科・領域との関連



3 学習指導目標

<p style="text-align: center;">単元のねらい</p> <p style="text-align: center;">4領域8能力との関わり</p>	① 自他の理解能力	② コミュニケーション能力	③ 情報収集・探索能力	④ 職業理解能力	⑤ 役割把握・認識能力	⑥ 計画実行能力	⑦ 選択能力	⑧ 課題解決能力	
	現代社会の様々な問題を新聞やテレビ、インターネットなどからとらえることができる。			○			○	○	
	現代社会の様々な問題を自分のこととして受け止め、将来の生活にどう関わっていくか追求しようとする。		○	○	○			○	
	地域から日本そして世界まで視野を広げ、観察、インターネット、聞き取り、体験学習などから得た情報を取り入れて将来の生活をより深く考えようとする。	○	○	○					○
	将来の生活を見通すことにより、今の生活の在り方や、自分たちの願い・希望を叶えるにはどうすればよいか考えることができる。		○	○	○	○	○	○	○
	集めた情報や考察したことを他の生徒や地域の人に分かりやすく伝えることができる。	○				○	○	○	○

4 指導計画(21時間扱い・・・本時18/21)

活動名	主な活動内容 【 】は関連するキャリア諸能力	指導上の留意点	教科・領域との 関連
四川省募金活動(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 運動会の反省 同じ時期に同じ中学生が犠牲となった四川省地震、助け合うことは【⑤】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 運動会を振り返りながら、同じ時期にあった四川省地震の被害者の中学生について、新聞を読んで考えさせる。 ◇ 日常募金活動を何気なくやっていた生徒も含めてどんな形で取り組むのか考えさせる。 ◇ 地域への呼びかけを検討させる。 	道徳 「M7. 3子供たちの見たもの」
オイルピークを考える(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ガソリン高騰の理由を考えよう【②】 低エネルギー社会を目指 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ガソリン高騰の話題がわき起こる中で、その理由について考えさせる。 ◇ 新聞のコラムから現代社会の問題 	道徳 「環境ホルモンを知っていますか」

	<p>そうという考え方について【③】</p>	<p>点を取り上げ、考える機会とする。</p>	
<p>高校説明会・大学生と語る会(3時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各高校説明会(5校)【③】 高校生と語る会【①②③】 大学生と語る会【①②③】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 高校生活や大学生活への疑問点をとらえさせてから、参加させる。 ◇ 少人数のグループごとに直に高校生(大学生)や高校の先生方(教授)と話し合うことで、高校生活(大学生生活)のイメージ化に役立たせる。 	<p>学級活動</p> <p>「進路先を調べてみよう」「生き方について考えよう」</p>
<p>救急救命講習(3時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時における生命を救えるコツの行動 心臓マッサージのやり方 AEDの使い方【④】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 2年次行った職場体験学習の発展的講習であることを認識させる。 ◇ 様々な状況や人間関係の中での活動を想像しながら、活動させる。 	<p>保健体育</p> <p>「応急手当」</p>
<p>自分史を書く(1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の2年後、10年後、20年後、45年後、60年後について、どうなっているか考える。【⑥】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 自分のことも含めて、地域・日本・世界など広い視野科や考えさせる。 ◇ 世界を取り巻く状況についても想像させる。 	<p>学級活動</p> <p>「心身共に健やかに」</p>
<p>日本・世界における社会問題(2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会における諸問題をあげ、一つ選んで調査する。【⑦】 諸問題が自分たちの将来にどんな影響を及ぼすのか考える。【⑧】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 将来の生活を考えて行くにあたって、現代社会における状況把握が必要となること、そしてそれが今後どう影響していくかについて考察させたい。 	<p>社会公民</p> <p>「私たちの暮らしと現代社会」</p>
<p>働くためのルールについて考える(2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 労働者としての権利・義務に関する情報・知識を習得する【③】 労働者としての権利・相談機関等に関する情報について習得する【③④⑧】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 興味を持てるような例題を用いながら「働くルール」について学習する。 ◇ 自分が将来困った場面で、どう「働くルール」を活用できるか考えさせる。 	<p>社会公民</p> <p>「暮らしの中に生きる憲法」</p>
<p>調査活動・シナリオづくり(4時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ともに生きていく世界をつくろう【①②⑦】 社会における諸問題について解決策を自分達の視点で考えよう【①②⑦⑧】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ グループ分けをし、将来の生活の各部分を担当させる。 ◇ シナリオを作りながら、自分たちの考えをどう表現すればうまく伝わるか考えさせる。 	<p>道徳</p> <p>「「古い」を理解できますか」「加山さんの願い」</p>
<p>中間発表会(本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループごとの発表【①】 感想発表・意見発表【①②】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 他グループの発表を聴いて、お互いを認め合う。 ◇ 自己評価に加え、互いに評価し合い、本番までの課題を明確にさせる。 	
<p>文化祭に向けての発表練習(2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表の仕方を工夫しよう。【②③⑧】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 中間発表で明らかになった課題を解決する方法を考えさせる。 ◇ より効果的な発表の仕方を考えたり資料を整えたりする。 	
<p>文化祭を振り返る(1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭のVTRを見る ワークシートに従って、取り 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 自分自身の活動を振り返らせるとともに、将来周囲の人と関わり合いな 	

	組みを振り返る。【①】 <ul style="list-style-type: none"> 互いに感じたことを発表し合い、取り組みの意義を確認する。【①、②】 自分自身の成長の跡を確認する【①】 	がら生きていく見通しをもたせる。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ これまでの取り込みの中で自分が成長できた面に気づかせる。 ◇ 広い視野に立って、物事を考えることが大事であることを理解させる。 	
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- 自分たちの選択した未来の部分について、伝えたい内容を焦点化して発表することができる。
- 他のグループの発表の長所や課題を考えながら聴き、発表本番に向けた各グループの課題を見つけることができる。

(2) 本時の展開

段階	学習内容	留意事項(・)と評価(※)
導入 (3分)	1 発表するにあたり、発表と聴き方について要点を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの選んだ時代背景に置いて、特に重要だととらえたところを発表させる。 ワークシートを用いて、ポイントを確認し、聴く際の心構えをもたせる。
展開 (42分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">発表本番に向けて課題を見つけよう</div> 2 自分たちが、17歳、25歳、40歳、60歳、75歳になったときの状況について劇をまじえて、発表する。【自他の理解能力・コミュニケーション能力】 3 ワークシートに従って、他のグループの発表を聴き、項目ごとに評価する。【自他の理解能力】 4 それぞれのグループの長所や課題をまとめ、本番に向けたアドバイスをする。【自他の理解能力・コミュニケーション能力・課題解決能力】	<ul style="list-style-type: none"> 発表するグループには、「ポイントを押さえて最も伝えたいことが発表できているか」を意識して活動させる。 発表を聴く生徒には、「何を課題としてとらえ、解決方法をどう考えたか」を意識させたい。 ※予定した内容を伝えることができたか。 ※他のグループの発表を観点に沿って聞き取ることができたか。 他のグループから学ぶことや改善点を考えながら記入し、発表させる。
終末 (5分)	5 今日の中間発表の課題を確認して、文化祭への取り組みの意識化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭までの見通しがもてるようにする。 ※自分のグループの課題を確認できたか。

(3) 評価の観点

- 予定した内容を伝えることができたか
- 他のグループの発表を観点に沿って聞き取ることができたか。

- ・ 自分のグループの課題を確認できたか

「将来の生活」……総合の学習中間発表会

3年A組 番氏名

- ☆ 発表にあたって……今日は、自分たちのグループの発表のポイントを明らかにして発表しよう。
これから、準備しようと思っていることを最後に付け足すこと。

自分たちの発表の課題を見つけよう

- ☆ 発表を聴くときのポイント

◎ 本番に向けて、よりよくするためにはどんな工夫をすればよいかを考えながら聴く。

年代	特に伝えたいこと	良かった点	アドバイス
17歳(2年後)	高校生活について、 高校卒業後の見通しについて		
25歳(10年後)	結婚、出産、保育料金、 労働状況		
40歳(25年後)	環境、働き盛りの年代 産業		
60歳(45年後)	国民年金、定年退職後 の生活		

75歳(60年後)	老人介護の問題解決方法		